



2020年8月6日

各位

会社名 サンコール株式会社  
 代表者名 代表取締役 大谷 忠雄  
 (コード: 5985、東証第1部)  
 問合せ先 常務執行役員  
 企画・管理部門長 金田 雅年  
 (TEL. 075-881-5280)

### 2021年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月15日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の連結業績予想及び配当予想を下記の通りお知らせいたします。

#### 1. 連結業績予想について

(1) 2021年3月期第2四半期連結累計期間 連結業績予想 (2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円. 銭 —
今回修正予想 (B)	16,400	△1,480	△1,560	△1,150	△36.38
増減額 (B-A)	—	—	—	—	---
増減率 ( % )	—	—	—	—	---
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	21,007	457	491	328	10.27

(2) 2021年3月期通期 連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円. 銭 —
今回修正予想 (B)	38,000	△1,900	△1,830	△1,280	△40.50
増減額 (B-A)	—	—	—	—	---
増減率 ( % )	—	—	—	—	---
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	42,354	1,375	1,336	1,123	35.33

#### (3) 公表の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が当社グループの業績に与える影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定し、公表することといたします。

売上高につきましては、自動車分野において新型コロナウイルス感染症の拡大により、6月までに一部期間生産停止や大幅な減産という影響を受けております。7月以降回復方向ですが、依然として感染症の拡大は継続しており、自動車需要の回復は不透明な状況です。自動車分野売上高は通期で前年対比20%程度減少する見込みです。

電子情報通信分野においては、ニアライン向けHDD用サスペンションに高い需要があるものの、フィリピン拠点の封鎖により当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比10.4%減となりました。6月中旬より正常な生産体制に回復しており、HDD用サスペンション売上高は通期で前年対比30%程度増加する見込みです。またプリンター関連の売上高はインクジェットプリンター需要減の影響から、通期で前年対比15%程度減少する見込みです。

このような状況下、当社グループは効率的な生産と固定費の抑制による利益確保に努めてまいりますが、主力製品の売上高減少による影響に加えて成長分野・次期主力製品への投資継続による減価償却費増加、昨年8月から納入開始したスマートフォン用部品の数量減等の利益悪化要因により第2四半期連結累計期間及び通期で営業損失、経常損失となる見通しです。

## 2. 配当予想について

### (1) 配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末 (円 銭)	期末 (円 銭)	合計 (円 銭)
前回発表予想	—	—	—
今回発表予想	9.00	未定	未定
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	9.00	11.00	20.00

### (2) 公表の理由

2021年3月期の配当予想につきましては、連結業績予想と同様に未定としておりましたが、上記連結業績予想に基づき、第2四半期末（中間）配当予想を公表いたします。

なお、当社は「中期経営計画GGP21」において継続した安定配当を方針としており、この方針は継続しております。しかし連結業績予想は上記の通り通期で損失となる見込みであり、第2四半期末（中間）配当予想を9円00銭、期末配当予想につきましては、引き続き未定とさせていただきます。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上